

聴講
無料

令和3年度 防災・伝承セミナーin宮城

WEBセミナー

みやぎ東日本大震災津波伝承館

日時 令和3年11月15日(月) 13時30分～15時30分
会場 オンライン開催 (聴講無料) ※ライブ配信

開催概要

1) 基調講演

講師 東北大学災害科学国際研究所 准教授 平野 勝也 氏
テーマ 「賑わいの創出」

2) パネルディスカッション

テーマ 「これからの震災の伝承 ～震災から10年。これから求められる震災伝承とは何か～」

コーディネーター	東北大学災害科学国際研究所 准教授	佐藤 翔輔 氏
パネリスト	石巻市長	齋藤 正美 氏
	気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館館長	佐藤 健一 氏
	宮城県 復興・危機管理部 復興支援・伝承課課長	田代 浩一 氏
	東北大学災害科学国際研究所 准教授	マリ・エリザベス 氏
	SAY'S東松島(市民活動グループ) 代表	山 縣 嘉 恵 氏

(※五十音順)

締め切り 令和3年11月11日(木)

※11月12日(金) 聴講用URLを送信します。

定員 300名

継続教育：(一社)建設コンサルタント協会CPDプログラムとして認定されています。
(1.83単位) (Live参加者のみ)

主催：一般財団法人3.11伝承ロード推進機構

共催：宮城県

後援：国土交通省 東北地方整備局、復興庁 宮城復興局、河北新報社

【申し込み・お問い合わせ先】

教訓が、いのちを救う。



一般財団法人3.11伝承ロード推進機構
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-26 コンヤスビル3F
TEL:022-393-4261 TAX:022-393-4271

申し込み：ホームページ申し込みフォームより
<https://www.311densho.or.jp>



3.11伝承ロード推進機構
ホームページ

プログラム

13:25	石巻南浜津波復興祈念公園・みやぎ東日本大震災津波伝承館 紹介ビデオ上映
13:30	開会あいさつ 宮城県知事
13:35	東北大学災害科学国際研究所 准教授 平野 勝也 氏 テーマ「賑わいの創出」
14:25	<p>パネルディスカッション</p> <p>テーマ 「これからの震災の伝承。～震災から10年これから求められる震災伝承とは何か～」</p> <p>コーディネーター 東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤 翔輔 氏</p> <p>パネリスト 石巻市長 齋藤 正美 氏</p> <p>気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館館長 佐藤 健一 氏</p> <p>宮城県 復興・危機管理部 復興支援・伝承課課長 田代 浩一 氏</p> <p>東北大学災害科学国際研究所 准教授 マリ・エリザベス 氏</p> <p>SAY'S東松島代表（市民活動グループ） 山縣 嘉恵 氏</p> <p>(※五十音順)</p>
15:30	閉会

◆基調講演



東北大学災害科学国際研究所 准教授
平野 勝也（ひらの かつや）氏

復興まちづくりには様々な課題があります。そうした課題をクリアしながら、人口減少の時代に対応した、少しでも質の高い持続可能な街となるように、公共空間整備を中心に石巻市全域、女川町中心街の復興まちづくりに実務的に取り組む。

◆コーディネーター



東北大学災害科学国際研究所 准教授
佐藤 翔輔（さとう しょうすけ）氏

災害伝承・継承のプロセスやその効果を解明する研究、災害時の情報とその処理方法に関する実態解明や改善手法の開発といった、災害・防災に関するコミュニケーションの領域について、実務現場と連携して取り組むほか、防災・減災の啓発に関する活動やツール活動にも関わる。

◆パネリスト

石巻市長

齋藤 正美（さいとう まさみ）氏

宮城県石巻市生まれ。日本大学工学部卒業。石巻市議会議員（1期）、宮城県議会議員（7期）を務める。令和元年11月から令和3年3月まで宮城県議会副議長を務め、令和3年4月29日より現職。座右の銘は「己を忘れ他を利するは慈悲の極みなり」



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 館長

佐藤 健一（さとう けんいち）氏

元気仙沼市総務部 危機管理監兼危機管理課長。長年にわたり漁港や海岸の施設整備などハード面からの防災に携わる。その後、住民避難に重きを置いたソフト面からの津波防災・地域防災に取り組んできた中で被災。2012年退職。令和3年4月より現職。



宮城県 復興・危機管理部 復興支援・伝承課 課長

田代 浩一（たしろ こういち）氏

平成5年宮城県職員採用。保健福祉部医学部設置推進室長補佐（総括）、総務部市町村課副参事を経て、令和元年10月から涌谷町副町長を務める。令和3年4月より現職。「みやぎ東日本大震災津波伝承館」の開館と、管理・運営に携わる。



東北大学災害科学国際研究所 准教授

マリ・エリザベス 氏

アメリカ合衆国出身。専門は建築学。「人間中心の住宅復興」をテーマに、災害後の住宅再建やコミュニティベースの復興計画に関する研究を行ってきた。地域住民やコミュニティの生活・生業の復興支援につながる住宅復興政策のあり方について追求している。



SAY'S東松島（市民活動グループ）代表

山縣 嘉恵（やまがた かえ）氏

東松島市を中心に、絵本の読み聞かせ、震災伝承のための語り部活動や、地域で活動したいと思う人と東松島を訪ねたい・もっと知りたいと思う人との橋渡し役として市民活動グループを設立。子供たちによる震災伝承活動の実現も目指し、防災教育支援のため、各地の震災伝承の手法を学び、活動に生かしている。

